平成26年度の本校の学校評価がまとまりました。本評価は、子どもたちがより良い教育を享受できるよう、教育活動等の成果を検証し、学校運営の改善と発展を目指すための取組です。昨年末に保護者の皆様にアンケートにご協力いただきました。先日、皆様からのご回答と教員の自己評価(次ページ掲載)をもとに立てた、次年度での改善の方策等が適切かどうかを、学校評価会議において評価していただきました。皆様からいただきました評価結果をもとに、今後も目指すべき成果を明確に設定し、それに向けた取組の適切さを検証しながら、組織的・継続的に学校運営の改善を図っていきたいと考えております。

平成26年度学校関係者評価書

1 本年度の重点目標

(1)一人ひとりの生徒を大切にする教育の推進に努める。
(2)すべての教育活動を通して自律性の伸長を図る。
(3)進路目標が達成できるよう、継続的に努力する態度を養う。

本年度の経営方針

(1)生徒一人ひとりの個性を生かし、学ぶ意欲と確かな学力の向上を図る。
(2)職員の協働意識を高め、組織連携による指導体制の充実を図る。
(3)当面の課題への対応と将来ビジョンを持って教育指導に当たる。
(4)地域との行動連携により、開かれた学校づくりを進める。

学校評価委員	
学校評議員	5名
PTA役員	5名
同窓会役員	5名

3 自己評価結果に対する外部評価

分野・領域	評価項目	達成状況	改善の方策	「自己評価」の適切さ	「改善の方策」の適切さ
学習指導	1 個に応じた指導を充実し、基礎基本の定着を図っている	B	・個に応じた指導及び評価法について、研修を継続し、学力向上に向けた取組を行う。 ・各科目の年間指導計画に基づき、付けさせたい力を生徒に周知し、自ら学ぶ意識を持たせる。 ・各教科と連携し、家庭学習に取り組ませる。	B	B
	2 生徒の実態・進路に応じた学習指導方法や評価の研究を推進し、学力の向上を図っている	B			
	3 自主的・能動的な学習態度を育成し、学習意欲の向上を図っている	C			
	4 新学習指導要領のねらいに応じた授業改善が図られるよう努めている	B			
外部評価者の意見等	・家庭学習の習慣化に向け、中学校での取組状況について情報を集め、対応を考えるのも一つの方法である。 ・一人ひとりの状況に合わせた個別の課題を与えるなど、生徒が取り組みやすいものを提示すると良いのでないか。 ・家庭学習の目的をきちんと認識させることが必要である。 ・これからの時代を考えると、日本の歴史や政治の最低限の知識を身に付けたり、高校生として読んでいなければならない本を読ませることも必要ではないか。				
生徒指導	1 面談等を通じて生徒理解に努め、基本的生活習慣の確立を図っている	A	・各活動の目的を明確にし、担任・学年の連携のもと、積極的に取り組ませる。 ・年度始めに生徒指導方針の確認を行い、全教職員の共通理解と協力のもと、きめ細かな指導を行う。	A	A
	2 生徒会活動・部活動を通して自ら考え、正しく判断し行動できる力の育成を図っている	B			
	3 集団の一員として相互に助け合い、豊かな人間性を育んでいる	B			
	4 いじめの根絶や問題行動の未然防止に向け、きめ細かな指導を行っている	B			
外部評価者の意見等	・どんな活動でも最後までやり抜く力と自信を持たせるための許容力が大切であると思う。				
進路指導	1 自己理解を深め、能力・適性に応じた進路目標を早期に設定できるよう指導している	B	・1学年時に総合的な学習の時間を活用し、「自己理解」に十分に取り組ませる。 ・全学年最低週1回の進学講習を実施する。 ・3学年は4月から就職講習を実施する。	A	B
	2 3年間を見通したキャリア教育の推進を図っている	B			
	3 資格取得の推進をしている	B			
外部評価者の意見等	・自己理解を深めるだけでなく、質を上げることを自覚させ、実践させ、結果を出させることが大切かと思います。				
健康安全指導	1 健康や体力増進を図るとともに、精神保健面の指導を行い健全な心身の育成に努めている	B	・薬物乱用防止教育、生と性に関わる講習等を計画的に実施し健全な心身の育成に努める。 ・「緊急時の対応」を常に職員室等に掲示し、共通理解が図れるようにする。	B	A
	2 安全・防災教育の充実を図り、緊急時の対応を身につけさせている	B			
外部評価者の意見等	・今年度の薬物乱用防止講話のような生の声は効果が大きいと思います。				
学校運営	1 教職員間の連携を強め、協働体制を高めている	B	・目標の共有化と学校課題の共通理解を進め、協働体制を高める。 ・学校ホームページの充実を図り、教育活動の情報を積極的に公表する。 ・学校評価体制を改善し、地域や保護者、教職員の意見を学校運営に反映させる。	B	B
	2 教育活動の点検・評価を確実に行い、工夫・改善や問題解決の道筋を共有している	B			
	3 情報発信し、保護者や地域からの信頼に応えようとしている	B			
	4 報告・連絡・相談体制の推進に努めている	B			
外部評価者の意見等	・多くの保護者から学校が信頼されているとアンケートから推測されます。 ・町外の保護者への情報提供の充実が課題かと思います。				
資質向上	1 公開授業・授業評価等を通して授業力の向上を図っている	A	・公開授業週間を継続し、授業改善を図る。 ・日ごろから服務規律の保持について、実例を挙げて啓発する。	A	A
	2 服務規律の厳正な保持に努めている	A			
外部評価者の意見等	・授業を参観したが、先生方の授業に対する取組(実践・反省)は素晴らしいと思いました。				
開かれた学校	1 文書・通信の発行、HPの更新を図っている	B	・学級通信の発行とともに、学校ホームページの充実を図る。 ・各種講演会等への保護者の参加を促進する。	A	B
	2 参観・見学の促進を図り、保護者や地域に丁寧な説明を行っている	B			
外部評価者の意見等	・ホームページ作りが改善されている。 ・町内で町外からの生徒の顔が見ることができるような活動を充実してほしい。				

達成状況及び評価について

評価規準　A:十分である　B:概ね十分である　C:不十分である　D:改善を要する